

CentreCOM® 8124XL リリースノート

この度は、CentreCOM 8124XL をお買いあげいただき、誠にありがとうございました。
このリリースノートは、付属のマニュアルに記載されていない内容や、ご使用前にご理解いただきたい注意点など、お客様に最新の情報をお知らせするものです。
最初にこのリリースノートをよくお読みになり、本製品を正しくご使用ください。

1 ソフトウェアバージョン 1.5.6J

2 本バージョンで修正された項目


本バージョンでは、前バージョン(1.5.5J)から下記の項目が修正されました。

- 2.1 本体に対する通信(SNMP マネージャーからの要求、Telnet 接続など)に応答しなくなる場合がありますでしたが、これを修正しました。

3 バージョン 1.5.2J で追加された項目

1.5.1J から 1.5.2J へのソフトウェアバージョンアップにおいて、下記の項目が追加されました。

- 3.1 パーチャル LAN(Virtual LANs)メニュー「Ports On Vlan」のポートの設定方法について


 「オペレーションマニュアル」2-47 ページ

パーチャル LAN(Virtual LANs)メニュー内 [Add new table entry] オプションの「Ports On Vlan」で、連続する複数のポートを設定する方法として、「-(ハイフン)」が使用できるようになりました。

(例：ポート 1 からポート 5 までを設定する場合は、「1-5」と入力します。)

4 制限事項

- 4.1 「MAC アドレス(Ethernet address)」によるシステムの指定方法について

 「オペレーションマニュアル」2-19、2-24、2-25 ページ

下記オプションを選択した場合、ネットワーク上の他のシステムを指定する方法として「MAC アドレス(Ethernet address)」が表示されますが、「MAC アドレス(Ethernet address)」による指定はサポートされていません。


また、マニュアルにおいても上記指定方法が記載されていますが、未サポートとなっておりますので、ご了承ください。

「Update software in another system」(ソフトウェアのダウンロード 他のシステム)

「Connect to a remote system」(他のシステムへの接続)

「Ping a remote system」(他のシステムの Ping テスト)

4.2 「拡張システム診断テスト(Extended Diagnostic Tests)」について

 「オペレーションマニュアル」2-29 ページ

システム管理 (Administration)メニュー内 [Diagnostics] を選択して表示される画面で、「Run Extended Diagnostic Tests now?」のメッセージに対して「Yes」を選択した場合に表示されるオプションのうち、サポートされている項目は下記のとおりです。

サポートされている項目

- B: BOOT System Software
- X: XMODEM download updated System Software
- D: Restore all configuration data to factory defaults
- Z: Change Terminal Speed

上記以外の項目はサポートされておりませんので、オプションを選択しないでください。
万一、オプションを選択した場合も、実際にはテストが実行されていませんのでご注意ください。

「F: Flash PROM Tests」についてはテストを実行しますが、テスト終了までの約1～2分間に電源が落ちますと、正常に起動しなくなる場合があります。


5 注意事項

5.1 1.4.xJ から 1.5.1J 以降へのバージョンアップにともなう VLAN 設定について

1.4.xJ がインストールされている本製品に対して、1.5.1J以降のソフトウェアをダウンロードした場合、ダウンロード前のVLAN設定(ポートの割り当て)がすべて無効となりますので、再度設定しなおしてください。

6 マニュアルの誤記訂正

6.1 送信フレームタイプの内容説明について

 「オペレーションマニュアル」2-13 ページ

送信フレームにおいて内容説明に誤りがありましたので、以下のとおり訂正してお詫びいたします。

誤 Transmits Deferred
リソース不足のため送信が遅延されたフレーム数。これらのフレームはバッファに保持されずにドロップされる。

Transmit Timeouts
コリジョンを検出したため、フレームの送信を停止した回数。

正 Transmits Deferred
パケット送信キャリア検出によって、遅延が生じた回数。

Transmits Timeouts
パケット送信キャリア検出によって、遅延が生じた回数。

Transmits Deferred と Transmits Timeouts は同じ内容のカウンターとなります。